

社協法人化50周年！記念イベントを開催します！

地域の皆様に支えられて、豊田市社協は法人化50周年を迎えます。
いつも応援してくださる方も、初めましての方も、気軽にお越しください。

日時：令和7年10月4日（土）
※①②は午前、③は午後、④は終日開催予定
場所：豊田市福祉センター

- ① 本会の活動を題材にした、**短編記念映画の上映**
- ② 絵画コンクール作品の**表彰**、支えていただいた地域の団体の**顕彰**
- ③ **ワンワンとあそぼうショー**の開催 ※観覧申し込みは終了しています
- ④ ロビーや屋外での様々な**出店・イベント**、絵画コンクール作品の**展示**

内容を一足先にご紹介

- 市内のボランティアの皆さんが活躍！
バルーンアートでロビーを彩ります🎈
- ボランティアセンターのキャラクターも登場！
子どもが楽しめるワークショップも🎨
- 市内の美味しいものが集結！
鮎の塩焼き(旭)、フランクフルト(ZIZI工房)、
綿菓子(シルバー人材センター)など、盛りだくさん！

地域のでつくる、記念の1日です。
ぜひお待ちしております！



ご寄付ありがとうございました

【令和7年5月1日～6月30日の寄付者一覧】 順不同、敬称略。
※掲載者以外にも匿名で多くのご寄付をいただきました。掲載名は、寄付者の意向に沿って掲載しています。

《社会福祉協議会への寄付》

阿部幸二、暮らしの手作り工房ちゃるま、磯谷公明、岡本修司、豊田市高年大学10期生匿名、塚田武士、水野和多留、国際ソロプチミスト豊田、長谷川敦男、トヨタテクニカルディベロップメント株式会社

《子ども基金への指定寄付》

豊田少年補導委員会、一般社団法人松平スポーツクラブ

《物品の寄付》

豊田煉瓦工業有限会社、豊田信用金庫、公益財団法人豊田地域医療センター、もぐもぐ藤岡店、北野和義

義援金へのご協力ありがとうございました

【令和7年5月1日～6月30日の寄付者一覧】 順不同、敬称略。
※掲載者以外にも匿名で多くのご寄付をいただきました。掲載名および送金先は、寄付者の意向に準拠しています。

《期間中に受け付けた義援金名称：2025年ミャンマー地震救援金、令和7年大船渡市赤崎町林野火災義援金、令和6年能登半島地震災害義援金、令和6年9月能登半島大雨災害義援金》

株式会社鬼頭精器製作所、福祉センター義援金箱、オイスカ豊田推進協議会、浄水駅前マルシェ実行委員会、大清水自治区、鞍ヶ池あじさいの道、豊寿園募金箱、豊田市上郷中学校、とよたガーデニングフェスタ実行委員会、どんぐりの里いなぶどんぐりの湯、どんぐりの里いなぶどんぐり横丁、豊田市稲武福祉センター、よつば会、まどいの丘義援金箱

※寄付者名は、寄付者の意向に沿って本会HPでも掲載しております。併せてそちらもご覧ください。

● 現在募集中の災害義援金について ●

災害名称	受付期間
ウクライナ人道危機救援金	令和4年3月2日～令和8年3月31日
令和6年能登半島地震災害義援金	令和6年1月4日～令和7年12月26日
令和6年9月能登半島大雨災害義援金	令和6年9月25日～令和7年12月26日
令和7年トカラ列島近海を震源とする地震災害義援金	令和7年7月15日～令和7年12月26日

《税控除について》

個人の場合

確定申告時に、「所得控除」か「税額控除」のどちらかを選択できます。

法人の場合

寄付金の一部を「損金算入」することができます。

詳しくはホームページをご覧ください。→



わが町キャラバッジ
まずは4種類紹介
しました！

残りは回して
チェック！

受付期間については、延長する場合があります。

詳しくは、日本赤十字社または本会総務課までお問合せください。

なお、日本赤十字社のホームページにも最新の情報が掲載されていますのでご利用ください。

< 豊田市社会福祉協議会連絡先一覧 >

TEL	FAX	TEL	FAX	TEL	FAX
●総務課(豊田市福祉センター)	34-1131 32-6011	●上郷出張所	41-5088 41-5099	●旭支所	68-3890 68-2801
●共生推進課	31-1294 33-2346	●猿投出張所	41-3082 41-3083	●足助支所	62-1857 61-1115
●くらし応援課	31-9671 33-2346	●高岡出張所	85-7720 85-7733	●稲武支所	82-2068 82-3604
●基幹包括支援センター	63-5279 63-5281	●高橋・松平出張所	85-1120 85-1122	●小原支所	65-3350 65-3705
●障がい者総合福祉会館	34-2940 35-2833	●豊寿園	27-2200 28-7343	●下山支所	90-4005 90-2419
				●藤岡支所	76-3606 76-3608

※とよた社協だよりの発行には社協会費・共同募金配分金が使われています。



WELFARE INFORMATION

令和7年9月発行
第180号

社会福祉法人
豊田市社会福祉協議会
〒471-0877
愛知県豊田市錦町1-1-1
TEL (0565) 34-1131
<https://toyota-shakyo.jp/>



赤い羽根募金・歳末たすけあい募金

にご協力をお願いします

募集期間 令和7年10月1日～令和8年3月31日



赤い羽根募金は、だれでもできる地域福祉参加の機会です

この運動は昭和22年から続いており、豊田市では今年も区長さんや組長さんにご協力いただき、赤い羽根募金と歳末たすけあい募金を同時に募集させていただきます。

募金は地域のために大切にに使わせていただきます。皆様のあたたかいご協力をよろしくお願いします。

県内の社会福祉のために

- ・社会福祉施設の整備費
- ・社会福祉団体の事業費
- ・募金運動推進活動費
- ・災害等準備金としての積立

令和6年度
赤い羽根共同募金実績

35,322,934円

地域の福祉活動のために

- ・地域ふれあいサロン
- ・ボランティア相談・講座
- ・コミュニティ会議福祉部会への支援

の使い道

福祉教育・啓発活動のために

- ・とよた市民福祉大学
- ・障がいを理解するための実施教室
- ・社協だより・ぼらんていあだより

地域にお住いの方のために

- ・車いす・福祉車両の貸出
- ・長寿祝事業
- ・緊急食糧支援



- ※ご協力は強制ではありませんが、募金活動の本旨にご理解を賜り、ご協力をお願いします。
- ※領収書により税制上の優遇措置を受けることができます。詳細は税務署等にご確認ください。
- ※領収書をご希望の方は、事前に事務局までお問い合わせください。（事務局：34-1131）

カフェでできる、ちょっといいこと。

豊田市共同募金委員会とボンズカフェ（豊田市福祉センター内）がコラボ！
カレーやパン、ミニバッグ等の対象商品をご購入いただくと、1点につき10円が寄付されます。
おいしい・嬉しいに、もう一つ、“いいこと”を足してみませんか？ぜひ福祉センターへ来所の際は、お立ち寄りください！
※コラボ期間は10月からを予定しています。
※対象商品は月によって変更しますので、お楽しみに…！



回して応援！わが町キャラ×共同募金

豊田市共同募金委員会と豊田市内のキャラクター（全15種）がコラボした「わが町キャラバッジ」のカプセルトイを設置しています。
シルバー人材センター内職サロンの皆様に作成・梱包の協力をいただいています。
紙面のあちこちにカプセルトイのキャラが一部登場します！ぜひ探してみてくださいね！



豊田市共同募金委員会 会長のご挨拶

本会では毎年、「じぶんの町を良くするしくみ」をテーマとして共同募金運動を行っています。
今年度も豊田市における地域福祉の課題解決を目指し、共同募金の推進に努めてまいりますので、皆様のあたたかいご理解・ご協力をお願い申し上げます。

豊田市共同募金委員会 会長 **高村 伸一**



思いやり いつでも どこでも 誰にでも



結(ゆい)サポート

～くらし安心事業～

結(ゆい)サポートとは

身近に頼れる親族などがいない方が、いつまでも安心してくらすよう、豊田市社会福祉協議会と契約することで、日頃の見守り及び意思決定支援、入院・施設入所などの支援、亡くなった後のことなどについて支援する事業です。**関心のある方、詳しく聞きたい方はお問い合わせください。**

対 象 者

豊田市内に居住している身寄りを頼ることができない方で判断能力のある方

- ☒ 家族や親族のいない方
- ☒ 家族や親族がいても、関係性の問題等により頼ることのできない方
- ☒ 家族や親族がいても、遠方ですぐに支援を受けられない方



サービス内容



日常生活支援(見守り・意思決定支援) [10月～]

- ① 月1回の電話支援
- ② 3ヶ月ごとの訪問支援(訪問時に支援日数の相談・意思決定支援を行います)



入退院・入退所時支援

- ① 夜間・休日などの連絡先
- ② 必要物品などの準備
- ③ 支払い・意思決定支援
- ④ 自宅の管理



死後事務支援 [2026年1月～]

- ① 法律専門職への紹介、公正証書作成などの調整

サービス開始までの流れ

- 1 相談
- 2 利用申込
- 3 審査
- 4 契約準備
- 5 契約
- 6 サービス開始

詳 細

サービス内容		利用料金(支援1回につき)	お支払い方法
日常生活支援	電話や訪問による見守り、意思決定支援	・電話：500円 ・訪問：1,000円	毎月月末までの合計額を、翌月末までに徴収させていただきます。
	医療に係る意思決定の支援	・同席：1,000円	
入退院・入退所時支援	必要物品の準備・お届け、自宅の管理	・1時間以内：2,000円 ・1時間～2時間以内：4,000円 ・2時間～3時間以内：6,000円 ・3時間～4時間以内：8,000円 ＋サービスにかかる実費	

問合せ：豊田市社会福祉協議会 くらし応援課 ☎：63-5595

楽しくイキイキ！シルバー人材センターで輝く毎日を！

豊田市在住のおおむね60歳以上で、健康で働く意欲のある方を募集しています！

シルバー人材センターは、高齢者が働くことを通じて自らの生きがいの充実等を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに貢献していくことを目的とした公益法人です。

お近くのシルバー人材センター窓口へご連絡ください！

※説明会にご参加いただき、センターの仕組みや主旨をご理解いただいたてから登録・活動となります。

公益社団法人 豊田市シルバー人材センター

本 所 豊田市喜多町6丁目61番地1 ☎31-1007
足助支所 ☎62-2166 稲武支所 ☎82-3000 小原支所 ☎66-0220
下山支所 ☎91-1221 藤岡支所 ☎76-2949



HPはこちら

仕事
除草・剪定
清掃・家事援助
など

花苗の育成(山室花はうす)



地域貢献
環境美化活動
地元行事に協力
など

環境美化活動



交流
会員交流会
クラブ活動
など

一生会(囲碁将棋クラブ)



令和6年度 社協事業報告

本年度も、「第2次 豊田市地域福祉計画・地域福祉活動計画(令和2～7年度)」に掲げる“安心して自分らしく生きられる 支え合いのまちづくり ～地域共生型システムの深化・推進～”を推し進め、多くの方々と連携を図りながら、必要な事業の実施に努めました。

令和6年度において本会が新規に実施もしくは注力した取り組みは次のとおりです。

1. 第2次豊田市地域福祉計画・地域福祉活動計画の実践(5年目)及び次期計画の策定開始

第3次計画策定に向け、地域福祉計画策定委員会を設置し、計画の体系案などの協議、検討を行いました。
例えば…
市民アンケート、ヒアリング、住民懇談会、テーマ別ワークショップの実施

2. 地域福祉人材の育成(地域福祉の担い手、福祉事業所などの専門人材)

地域福祉の推進に不可欠な“担い手”となる人材の確保、育成の取組を行いました。
例えば…
とよた市民福祉大学(第9期)：福祉入門コース31人、家庭介護コース45人受講
障がい理解するための実践教室：52校、延べ8,118人が参加(市内小中高等学校)
出前講座：25件、814人が参加

3. 困難を抱える世帯等への包括的な相談支援と権利擁護支援

世帯や地域が抱える様々な生活上の課題の相談を、住民に身近な場所で応じることができた全市的な相談支援体制を継続しました。
また、権利擁護事業では、新たに身寄りを頼れない方の生活支援に必要な要素を把握し、見守りや意思決定、入院・入所、死後の対応をサポートする仕組みづくりに取り組み、相談支援体制を整えました。

4. コミュニティソーシャルワーカーによる住民主体の地域福祉活動の支援

コミュニティソーシャルワーカーを各拠点(本所、支所及び出張所)に配置し、住民が主体となる地域福祉活動の支援を実施しました。
例えば…
福祉講話や体験会：100件
地域づくりに関する企画支援：40回
地域ふれあいサロン情報交流会：9回

5. 次の50年に向けた法人の体制強化～NEXT(ネクスト)50～

“次の50年(NEXT50)”への出発点となる令和7年10月の大きな節目を前に、本会事業の周知や職員の結束を深めるための取組を行いました。
例えば…
記念誌の編纂、プロモーション短編映画の制作、ロゴマークを活用したPR活動、輝ける人づくり応援セミナー(240名の参加)



社協が実施する事業は、社協要覧「ふれあい」にて掲載されています。
社協HP(右記QRコード)、福祉センターや支所・出張所にて入手できます。
ぜひご覧ください！



決算報告

収入

区 分	決算額	説 明
受託金収入	1,061,366	市・県・県社協受託金(指定管理料等)
介護保険事業収入	576,186	介護報酬収入、利用者負担金収入等
障害福祉サービス等事業収入	129,967	介護給付費収入、利用者負担金収入、作業収入(地域活動支援センター等)
取崩収入	76,935	基金・積立金取崩収入
経常経費補助金収入	133,695	市・県社協補助金、赤い羽根共同募金配分金等
会費収入	26,380	世帯会費、法人会費、団体会費、施設会費
寄付金収入	171,424	一般寄付、指定寄付
受取利息配当金収入	25,857	受取利息収入
負担金収入	12,528	出向職員退職積立、市共催事業負担金、日赤負担金
事業収入	16,690	法人後見事業利用料収入、施設利用料収入
その他収入	9,544	貸付償還金収入、研修会等参加費収入、利用料収入等、雑収入
前期末支払資金残高	727,733	
計	2,968,305	

支出

区 分	決算額	説 明
支え合いの地域づくり	269,607	住民福祉教育、ボランティアセンター運営、地域ふれあいサロン、子ども食堂等の支援、コミュニティソーシャルワーカー配置
相談支援の充実	367,975	包括支援センター、成年後見支援センター、生活困窮者自立支援事業、障がい者児自立相談、ケアマネ事業、法律相談
在宅福祉の充実	811,336	ホームヘルプ、デイサービス、日中一時支援、地域活動支援センター、介護人材の確保・養成、介護サービス機関連絡協議会事務局
指定管理の充実	419,696	9か所の指定管理施設の管理運営
法人基盤の強化	459,096	自主財源の確保、内部留保金の適正運用、安定した法人運営・事業展開のための職員育成
計	2,327,710	

※単位：千円
※内部の資金移動分を除く
※収支差額は次年度に繰り越す